



The Osaka University Dental Society

大阪大学歯学会
The Osaka University Dental Society

NEWS LETTER

April, 2010 | No.2

「大阪大学大学院歯学研究科第7回市民フォーラム」レポート

平成21年10月17日、大阪梅田の毎日新聞オーバルホールにおいて、「大阪大学大学院歯学研究科 第7回市民フォーラム」を開催いたしました。サブタイトルである「**口福への誘い**—**歯科診療の新展開**—」に併せて、6名の演者による講演が行われました。新型インフルエンザウイルスが猛威を振るう時期でしたが、約450名の参加者で賑わいました。総合討論コーナーでは、悩み事に対する回答を得た参加者の皆さまが、次々に笑顔へと転じていく姿を見ることができました。最後は会場が大きな笑い声で包まれ、閉会後には「阪大歯学部で診てもらえますか」と、嬉しい言葉を数多く頂戴いたしました。歯科医師過剰時代と評される昨今ですが、一方で良医に巡り会えずに困っている患者さまが多いことも実感いたしました。本フォーラムを通じて、本学ならびに歯学会の最新歯科情報を広く発信する重要性を認識いたしました。



米田会長による開会の挨拶



講演風景



総合討論コーナー



笑顔に包まれる質疑応答時間



最後は、熱気に推されて米田会長も質疑に登場

CONTENTS

「大阪大学大学院歯学研究科第7回市民フォーラム」レポート	1
大阪大学歯学会 庶務理事 寺尾 豊	
平成21年度大学院活動成果報告	2
大阪大学大学院歯学研究科 口腔外科学第二教室 須澤 佳香	
大阪大学大学院歯学研究科 小児歯科学教室・先端機器情報学教室 山内 理司	
大阪大学大学院歯学研究科 歯科保存学教室 泉谷 尚美	
大阪大学大学院歯学研究科 歯科補綴学第一教室 内田 昌範	
大阪大学大学院歯学研究科 小児歯科学教室 根本 浩利	
大阪大学大学院歯学研究科 歯科保存学教室 山口 幹代	
大阪大学歯学会 第56回総会 第109回例会報告	4
大阪大学歯学会 庶務理事 田中 宗雄	

平成21年度優秀海外発表大学院奨励賞授賞式

大阪大学歯学会では、優れた国際学会発表を行った歯学会会員である本学の大学院生を奨励するため「優秀海外発表大学院奨励賞」を設置しており、平成21年度は 柏木 陽一郎（口腔治療学教室）、Chindasombatjaroen Jira（歯科放射線学教室）、松下 真美（歯科保存学教室）および安藤 貴則（歯科補綴学第二教室）の4名が受賞され、3月15日に授賞式が行われ、米田会長より賞状および副賞の授与が行われました。



今年にはADRに多くの大学院生も参加すると聞いておりますが、その発表を本賞にも申請してみませんか？「われこそは！」という生きのいい大学院生を歯学会は応援したいと考えております。

優秀海外発表大学院奨励賞

World Biomaterials Congress 参加をふり返って

口腔外科学第二教室

須澤 佳香

このたびこのような賞を戴きまして、大変嬉しく光栄に思います。お忙しい中ご丁寧にご指導いただきました共同研究者の先生方に、深く感謝致します。私は国内の国際学会での発表は経験がありましたが、海外での学会は今回参加自体が初めてでした。そのため発表内容に関することに限らず準備に何かと手間がかかり、負担を感じることもしばしばでしたが、振り返ってみるといざれも自分にとっては非常に有益であったと思います。

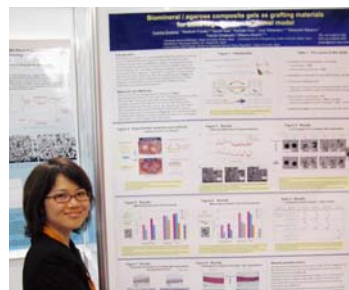
また国内だとマイナーなセッションでも、世界大会ならではの規模の大きさによる情報の豊富さを実感できた機会にもなりました。普段の研究作業において、それなりに検討を重ねた上で計画を立てて進めているつもりでも、無駄なことをしてしまったり全く予想違いの結果が出てしまったりなど、頭を抱えて悩むことは絶えません。今回は他国の方の発表からちょっとした工夫にヒントを得たり、曖昧だった点がクリアになったり、新しい方向性が見出せたりしたことが多々あり、参考になった上何より今後の励みになりました。

開催地は気候もよく、自然豊かで町中が色鮮やかな植物にあふれており、とても癒されました。また時期的に日照時間が長

く22時頃まで外が明るかったり、あらゆる場面で文化の違いを実感したりと、会場の外でも実に貴重な体験ができた満足しております。これからも研究や臨床を通して、このような自己啓発の機会を設けていきたいと思っております。



初スキポール空港到着時。あまりの大きさに圧倒されました



自身の発表ポスター前にて



共同研究をさせていただいている工学研究科 明石研究室の仲間とアムステルダムの学会会場ロビーにて

小児歯科学教室・先端機器情報学教室

山内 理司

この度歯学会より、2008年9月にモンリオールにおいて行われたAmerican society for bone and mineral researchにおいておこなった発表に対し、海外優秀発表奨励賞を頂きました。このような賞を頂いたことを非常に光栄に思うとともに選考委員及び、歯学会運営に携わって下さった方々に深く感謝致します。

私は骨芽細胞の分化過程において機能を有する新規因子としてOdd-skipped related1遺伝子に関する研究を続けてきました。当学会におきましてはOsr1遺伝子を過剰に発現させたマウスでは頭蓋骨の形態に異常がみとめられ、骨芽細胞の分化が遅延していることを報告させていただきました。

発表はポスター形式の発表で行われ、1時間半の質疑応答時間の間に多くの研究者の方が私のパネルに訪れてくださりまし

た。私のつたない語学力もありスムーズなディスカッションがおこなえたとは言えませんが、質問者の方の親切な対応も手伝って有意義なディスカッションができたと思っております。

最後になりましたが、本研究、発表においてご指導を頂きました、大嶋教授、天野教授、河合助教並びに、共同研究者の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。



海外派遣報告

歯科保存学教室

泉谷 尚美

この度、大学院GP海外派遣プログラムから、University of Amsterdam Academic Center for Dentistryで研修をさせていただきました。海外での研究に触れることができ大変有意義な経験をする事ができました。実験の組み立てや、ディスカッションの時間はとても楽しくあっという間でした。教室のmeetingにも参加し、発表はすべて英語で議論がなされていること、活発な意見交換がされていることに刺激を受け、大変勉強になりました。またEndodontologyの臨床コースの授業に実験の合間に参加させてもらうことができ、日本とオランダでの診療の違いをみる事ができました。

最後になりましたが、ten Cate教授、Extracate 先生をはじめ教室員の方々に、ご指導頂きましたことを心から感謝いたします。またこのような素晴らしい機会を与えて頂きました大学院教育支援プログラム、関係の先生方、恵比須繁之教授、今里 聡准教授、ならびに共同研究者の皆様にご心より御礼申し上げます。



教室のMeetingにて



Bob ten Cate 教授と87th IADR/Unilever Hatton Awards Ceremony にて



研修期間中ご指導いただきました Rob Extracate 先生と研究室にて

歯科補綴学第一教室

内田 昌範

大学院GP支援「海外短期留学」により Katholieke Universiteit LEUVENのAntoon De Laat教授の元で顎関節症の治療を学ぶことができました。Antoon De Laat教授はブラキシズム、顎関節症に精通しており、私が興味のある分野の最先端の人の治療をまじかに見ることができ、その治療についてのフィードバックを即座にいただけたので大変有意義で貴重な体験となりました。また、丁度学位の論文を書いている時であり、Antoon先生とブラキシズムについて多くの話ができただけで今では私の大きな財産になっており、大学院卒業後の研究についての方向性を定めることができました。留学においても長崎大学の岡安先生や、岡山大学の峯先生に具体的な話が聞けたのがよかったです。帰国後に矢谷先生、医学部環境医学の森本先生と研究について話し、新しい研究をしようと考えています。

このような機会を与えて下さった大学院教育改革支援プログラム及び、関係の先生方に感謝の意を表します。ありがとうございました。



診療室の光景



左からアントン先生、筆者、研修医のヤレン先生



ルーベンの市庁舎とフォンスケ

タイ・マヒドン大学への訪問

小児歯科学教室

根本 浩利

今回、大学院GP国際連携プログラム海外派遣のご支援のもと、平成21年2月19日から3月4日の約2週間にわたってタイのマヒドン大学歯学部において基礎研究および歯科臨床の現場に触れる機会を与えていただき、大変貴重な経験をすることができました。

マヒドン大学では、歯学部構内の様々な研究施設、小児歯科をはじめとした診療室を見学させていただくとともに、多くの基礎系、臨床系の先生方とディスカッションもさせていただきました。海外の大学の研究機関や附属病院を見学する機会は今回が初めてであり、全てが大変興味深く新鮮な気持ちで滞在中の日々を過ごしました。今回、このような短期留学の経験を得られたことで、海外における研究環境や臨床の状況を実際に体感することができ、これまで4年間の大学院生活で学んできた研究や臨床との比較ができたことは、今後非常に役立つものと

確信しております。

最後になりましたが、このような素晴らしい機会を与えてくださった、大嶋教授をはじめとした先生方に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。



マヒドン大学歯学部



僻地で大活躍のmobile unit



細菌学教室にて（左からJeabさん、仲野先生、著者、細菌学教室スタッフ）

大学院GP海外派遣報告

歯科保存学教室

山口 幹代

平成21年2月15日から25日にかけて、大学院教育改革支援プログラムによる国際連携大学院カリキュラムの一環として、College of Dentistry University of FloridaのDepartment of Oral Biologyに短期留学させていただきました。

私はこれまで、辺縁性歯周炎や根尖性歯周炎の主な病原性細菌である *Porphyromonas gingivalis* のバイオフィルム形成に関する遺伝子についての研究を行ってきました。そこで、*P. gingivalis*の最先端の研究に触れること、海外の研究者とのディスカッションを通し、国際的な視野を広げることを目的に *P. gingivalis*の研究では世界的権威の一人である、R. J. Lamont教授のもとで研鑽を積ませて頂きました。

滞在中は、実験の見学、ラボミーティングへの参加や研究発表などの貴重な経験をすることができました。大学院の卒業を控えた、卒後の在り方について思い悩む大事な時期に、このよ

うな貴重な経験をさせて頂き、この経験を今後の臨床や研究に活かしていきたいと決意を新たにしました。



歯学部病院の入口



College of Dentistry University of Floridaの中庭から撮影した写真

Lamont先生が昨年、講演にきてくださったときの写真

大阪大学歯学会 第56回総会 第109回例会報告

平成21年11月12日（木）午後3時から、弓倉記念ホールにて、歯学会総会および例会を開催いたしました。一般演題3題、歯学会会員である大学院生の国際学会および海外研究室訪問報告6題および特別講演として平成21年度弓倉学術奨励賞受賞講演2題の発表がありました。大学院生達は発表している最中に海外での楽しかった日々がよみがえってくるようで、聴講者にも、彼らが訪問した場所および出会った人々への感謝の思いが伝わってくる発表となりました。例会に引き続き総会が行われ、会務報告および平成22年度事業計画についての協議が行われました。

当日は、特定共同指導の日と重なったため人手が足りず、運営の不安が懸念されましたが、関係者各位のご協力により問題なく閉会に至りましたこと感謝いたします。

大阪大学歯学会
NEWS LETTER No.2
● 2010年4月号

2010年4月15日 発行
編集・発行 大阪大学歯学会

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-8 TEL(06)6875-8300 内線2044
ホームページアドレス <http://web.dent.osaka-u.ac.jp/~sigakkai/>